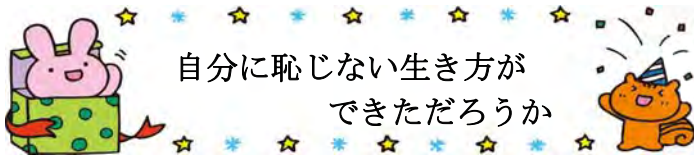


教職員として、私達の学生を見て、学校がなにかしななければいけないこと、してあげたいこと、そんなことはないでしょうか。

# FD・SD news

それぞれができること、したいことから一歩一歩取り組んでいきたいと思います。私たちの学生のために私たちができること、それを積み重ねて、日本一の宮崎学園短期大学にしようではありませんか。

## 学生のために…が自分の成長に (保育科 高妻 弘子)



この原稿依頼を受けて、まず考えたのが「4月からの自分はどうかだっただろうか」ということでした。必死でしたが、なんとかできた、よく頑張ったと客観的にみて笑いが出るほど実にさまざまな経験をさせてもらいました。



### 【本当の優しさってなあに？】

「先生厳しい〜」「優しくな〜い」「見逃して」これは、4月、提出期限の守れなかった学生を指導した時にもらった言葉です。学生は遅れたことを恥じることなく、臆することなく堂々とそう言いきったのです。衝撃的でした。忘れ物、遅刻もまた然り…。学生の求める優しさってなんなのでしょう。そして、それは社会に出た時本当に本人のためになるものなのでしょうか。いろんな思いが頭を過ぎりました。

- ・学生の考える優しさに合わせる (自分の身を守りたい)
- ・社会の厳しさや常識を伝え指導をする (教師の役割)
- ・歩みよりながら変化を待つ (線引きはどこ?)
- ・何も言わず評価で差をつける? (本人の学びにならない)

心の葛藤を経てようやく行き着いた答えは『私は、今、何のためにここにいるのか』学生の気持ちを汲み取りながら社会で通用する人材へと導いていく難しさを痛感しながらの毎日です。



### 【学生の発想の豊かさに目からうろこ！】

学生にこんな力があつたのか！！

授業の中で幼児の生活における課題を取り上げ、それについての改善活動や領域を主とした遊びの活動を演習として行っています。昨年度まで幼稚園に勤務し幅広く多くの活動を計画してきましたが、初めて出会

う活動がたくさんあり学生の発想力と保育・教育の世界の奥深さを改めて感じています。

とてもよい発想のなかで学生に追求するとすれば、理論を押さえそれに基づいた計画の遂行です。保育は楽しければよいというものではなく、何のためにそれをするのかという目的を持ち、子どもが主体的に取り組めるように援助や配慮を行います。子どもの発達段階や教育要領、保育指針の内容が理解できていないと適切な活動や対応ができないのです。

- ・こんな子どもがいたらどう対応する？
- ・活動中にこんなトラブルは考えられない？
- ・ねらいと活動、援助、配慮はつながりがあるか
- ・ねらい達成のための工夫点はどこ？

など具体的な質問をなげかけながら理論と実践が結びつくようにしています。そのためには、私自信も基本をしっかりと学びなおして、何をどのように伝えるとよいのか、伝えたいことをどのように組み立てていくのか試行錯誤しながら発見や気づきに囲まれています。



### 【現場に強い学生作り】

保育科の学生に1番求めたいもの。それは、**求められる保育士になる**ということです。あなたが園長先生だったらどんな保育士がほしい？自分の子どもをどんな先生にお願いしたい？相手の立場に立てば答えは自ずとみえてきます。私は…という意志も大事ですが少しずつ回りにも目を向け、今だけでなく未来の自分という存在目標をかかげ、常に向上心をもって歩んでほしいと願います。向上するためには探究心をもたなければなりません。今の学生時代に探究する面白さや充実感、達成感を味わえるような経験を提供し、思いを共有しながら現場で大きく活躍できるような人材育成の関わりが持てたらと思っています。

私を成長させてくれる学生に感謝しながら学生のスキルアップのお手伝いができたら嬉しいです。